



令和5年度

池田市下水道事業が70周年を迎えます

市では、快適でうるおいのある生活に不可欠な都市インフラの整備に力を注いできましたが、下水道事業にもいち早く着手してきました。国の下水道施策が本格化する前の昭和28年に、密集市街地の浸水対策として事業を開始し、今年で70年となります。

☎ 経営企画課 ☎ 754・6069

池田市

下水道事業の歴史

昭和28年
(1953年)

●旧市街地の浸水対策として事業認可を取得。桜通りから幹線工事着手



下水道整備前の浸水状況

昭和38年
(1963年)

●下水道処理場建設開始



下水道管の布設工事 (桜通り)



下水道処理場の建設工事

昭和43年
(1968年)

●下水道処理場供用開始

昭和48年
(1973年)

●下水道人口普及率(下水道を使用できる人の割合)50%

昭和51年
(1976年)

●府内で初めて細河地区が特定環境保全公共下水道として事業認可を取得

昭和53年
(1978年)

●下水道人口普及率90%



完成当時の下水処理場

池田市

下水道事業の歴史

昭和62年
(1987年)

- 池田駅前周辺設備事業完成
- せせらぎモール第1期通水

平成4年
(1992年)

- せせらぎモールが第1回いきいき下水道賞建設大臣賞受賞

平成6・9年
(1994・1997年)

- 局地的集中豪雨により浸水被害が発生し、雨水整備計画を見直し

平成15年
(2003年)

- 八王寺川雨水増補幹線完成(貯留量約10,000m³)

平成21年
(2009年)

- 水道事業と統合し、上下水道部を発足

平成25年
(2013年)

- 下水処理場高度処理施設完成

平成26年
(2014年)

- 国土交通省の下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)に採択され最新の汚泥処理施設が完成

平成27年
(2015年)

- 下水道人口普及率100%

平成29年
(2017年)

- 日本で初めて警察と協力して振り込め詐欺防止プリントマンホールを作成

令和元年
(2019年)

- 市制施行80周年・猪名川流域下水道通水50周年事業の一環として第9回マンホールサミットin池田を開催
- マンホールカード(市観光大使ひよこちゃん)を配布

令和3年
(2021年)

- ゲリラ豪雨対策の一環として神田地区貯留施設の工事を着手(貯留量約3,000m³)



せせらぎモール



八王寺川の
浸水状況



八王寺川雨水増補幹線の管内



下水処理場の
B-DASH施設



振り込め詐欺防止プリントマン
ホール



ひよこちゃん
マンホールカード



マンホールサミットin池田

市内にあるデザインマンホール

市観光大使ひよこちゃんや山鳩が描かれたデザイン以外にも、日本で初めて警察と協力して作成した振り込め詐欺防止デザインや市内児童のオリジナルデザインなど、全部で39種類のさまざまなマンホールがあります。市内のどこに設置されているか、皆さんご存じでしょうか。



デザインマンホールコンクール

今年市下水道事業70周年記念事業として、さらに大規模に開催!

3年度から市内小学4～6年生を対象にデザインマンホールコンクールを実施しています。優秀賞に選ばれた作品はプリントマンホールとして市内に設置しています。

今年70周年記念事業として、中学生以上の一般の方からも募集します。優秀賞に選ばれた作品は、6年1月に展示会を実施し、その後、実物のプリントマンホールとして設置する予定です。

「私にみんなに伝えたい、池田市の魅力」をテーマに、たくさんのご応募お待ちしております。

対 市内在住・在勤・在学の中学生以上の方 **申** 9月19日(火)までに応募用紙に必要事項を記入し、経営企画課へ ※応募作品は手描き、電子データどちらでもかまいません。手描きの場合、用紙はA3サイズの所定の応募用紙または同様の応募内容を記した八つ切り画用紙(270×380mm。直径25cm程度の円を描き、その中に描画)とします。応募用紙は同課で配布または市上下水道部のホームページからもダウンロードできます。



これからの市の下水道の姿

雨水対策

近年、気候変動により降雨量の増加やゲリラ豪雨が頻発しています。これからの降雨に対しても浸水被害が起きないように、雨水整備を進めていきます。

耐震・災害対策

学校や病院、防災拠点から下水処理場につながる重要な下水道管や下水処理場施設を地震に強くしています。近年では、道路を掘ったり、生活排水を止めたりすることなく、管の内側から地震に強い管にリニューアルする技術を取り入れるなど、耐震対策を進めています。また、避難所となる小学校には、災害時にも安心して使用できるマンホールトイレシステムを設置していく予定です。

老朽化対策

市では早くから下水道事業に着手していることから、下水道管や下水処理場施設の老朽化も課題となっています。計画的に老朽化した施設の更新を行い、安全・安心・安定した下水道サービスに取り組んでいます。



雨水管の布設状況



下水道管の耐震化工事の状況



老朽化対策をしている雨水スクリーンプンプ



現在建設中の雨水貯留施設 工事現場の親子見学会を開催！



平成26年の集中豪雨による浸水被害を受け、市では床上浸水対策事業を令和元年度から行っています。

現在、ゲリラ豪雨が発生しても、一時的に雨水をためる約3,000㎡の貯留施設(学校のプール約10個分)をダイハツ町で建設工事中です。

70周年記念事業として、市内の小・中学生とその保護者を対象に、建設中の工事現場の親子見学会を開催します。

時 6月24日(土)①午前10時②11時③午後1時④2時(所要時間1時間30分) **場** 「神田地区貯留施設築造工事」の工事現場(ダイハツ町) **対** 市内在住の小・中学生とその保護者 **定** 約80人 **申** 6月1日(木)午前9時から電話または下記二次元コードから申し込み **問** 経営企画課 **☎** 754・6069 ※集合場所は工事現場事務所。車で来場される場合は下水処理場に駐車してください。

こちらから申し込み➡

